


[Back to list](#)1-1/1 [Next page](#) From - CountDisplay format [Display checked documents](#)[Check All](#)[Uncheck All](#)☐ ** Result [P] ** Format(P805) 2005.01.22

1/

1

Application no/date: 1974- 2866[1973/12/28]
Date of request for examination: [1975/ 5/26]
Accelerated examination ()
Public disclosure no/date: 1975- 98181  Translate [1975/ 8/ 4]
Examined publication no/date (old law): []
Registration no/date: []
Examined publication date (present law): []
PCT application no: []
PCT publication no/date: []
Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD
Inventor: MATSUOKA YOSHIFUMI, TODA ATSUSHI, SHIGEMATSU KOICHI, ABE IKUZO
IPC: A61B 5/02
FI: A61B 5/02 , 337D
F-Term: 4C017AA08, BC11, BD05, FF08
Expanded classification: 282, 461
Fixed keyword:
Citation: [, . ,] (, ,)
Title of invention: Oscillometric blood pressure monitor
Abstract: [ABSTRACT]

It is non-watched, and, in blood electromanometer, detect callosity without a thing of Korotokoff sound at the time of cuff pressure fall surely in the summer to detect minimal blood pressure value surely.
Additional word: It is non-watched, and, sphygmomanometry, blood, electrical services, cuff pressure drop, it is Korotokoff sound, monostable multivibrator (Machine translation)

[Check All](#)[Uncheck All](#)[Display checked documents](#)Display format 1-1/1 [Next page](#) From - Count[Back to list](#)



⑬ 日本国特許庁

公開特許公報

特 許 願 (23)

昭和 48 年 12 月 28 日

特許庁長官殿

1 発明の名称
ケツ プツソクテイソウチ
血圧測定装置

2 発明者
住 所 大阪府門真市大字門真1006番地
松下電器産業株式会社内
氏 名 マン オカ ヨシ フミ
(ほか3名)

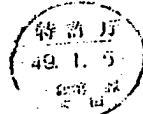
3 特許出願人
住 所 大阪府門真市大字門真1006番地
氏 名 (582) 松下電器産業株式会社
代表者 松 下 正 治

4 代理人 〒 571
住 所 大阪府門真市大字門真1006番地
氏 名 松下電器産業株式会社内
(5971) 弁理士 中 尾 敏 男
(ほか1名)

(連絡先 電話0659453-3111 特許部分3D)

5 添付書類の目録
(1) 明 細 書
(2) 図 面
(3) 委 任 状
(4) 願 書 副 本

1 通
1 通
1 通
1 通
方 式 審 査



49-002866

明 細 書

1、発明の名称

血圧測定装置

2、特許請求の範囲

コロトコフ音を入力として動作する単安定マルチバイブレータとそのマルチバイブレータが単安定状態にあるときのみ、前記コロトコフ音を入力とする別の単安定マルチバイブレータを構成し、2個のマルチバイブレータのいずれもが単安定状態から安定状態に復帰したことでコロトコフ音の無くなったことを確認することを特徴とする血圧測定装置。

3、発明の詳細な説明

本発明は、非観血電気血圧計において、最低血圧値を確実に検知しようカフ圧下降時にコロトコフ音の無くなったことを確実に検出することを目的とする。

従来から血管動脈をカフによって圧迫して血液の流れを一時的にとめ、その後カフ圧を減少させて、再び血液が流れ出す時に血管にはコロト

⑪特開昭 50-98181

⑬公開日 昭50.(1975) 8. 4

⑫特願昭 48-2866

⑭出願日 昭48.(1973) 12. 28

審査請求 未請求 (全2頁)

庁内整理番号

722754

⑮日本分類

94 A152

⑯Int.Cl²

A61B 6/02

コフ音という血流音が発生することはよく知られているとおりである。

聴診法では、この降圧時に最初にコロトコフ音の聞えるカフ圧を最高血圧としている。またこのコロトコフ音はカフ圧の減少とともに継続して発生し血流が連続して流れるまで続く。このコロトコフ音の消える圧力を最低血圧としている。

自動電子血圧計は、このコロトコフ音の出現時、および消滅時を検知してその時のカフ圧を測定、表示するものである。最低血圧の検出はこのようにコロトコフ音の消滅を検出する必要があるが、本発明は、音の消滅を簡単な方法で検知するようしたものである。

以下本発明のブロック図を第1図に、動作波形を第2図に示す。

第1図で、1は単安定マルチバイブレータで、Aからの入力によって動作し、一定時間単安定状態に移行する。Aはコロトコフ音入力である。2はマルチバイブレータ1の出力Bと入力Aの論理積回路である。3はマルチバイブレータ1と同じ

動作を第2図に示す。第2図A, B, C, D, Eは各々第1図に記入の場所の出力電圧波形を示す。第2図(f)は脈搏の遅い人、すなわちコロトコフ音の間隔が長い人の場合、(g)は脈搏の早い人の場合を示す。

果、B、Dの論理和を回路4でとった出力Eはコロトコフ音が続いている間は常に高レベルとなる。時間 t_6 でコロトコフ音が終るとT時間後 t_8 で出力Eは低レベルとなり、この時、最低血圧値を確認し、最後のコロトコフ音の発生時 t_6 のときの血圧値を最低血圧値と判定する。(ii)の場合は脈搏の早い人の場合であるがこの場合も(i)と全く同様に動作する。

このように本発明の血圧測定装置によれば、簡単な構成で最低血圧を自動的に確認できるものである。

第1図は本発明による血圧測定装置の一実施例のブロック図、第2図は同要部の出力電圧波形図である。

1, 3 …… 単安定マルチバイブレータ、2 ……
論理積回路。

代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名

(1) 發明者

住 氏	所 名	大 阪	府 門 下	真 市 大 門 真 株 1006 番 地	内 志
住 氏	所 名	同	所	松 田	一
住 氏	所 名	同	所	松	三
住 氏	所 名	同	所	部	

住 所 大阪府門真市大字門真1006番地
松下電器産業株式会社内
氏 名 (6152) 井理士 栗野重孝

The circuit diagram shows an input A connected to a NOT gate (1) and an AND gate (2). The output of the NOT gate is B. The output of the AND gate is C. B and C are connected to an OR gate (3), which has output D. Finally, B and D are connected to a second OR gate (4), which produces the output E.

(a)

(b)

時間